



歌浦っ子・ベゴニア通信



「フリッツ」って食べたことありますか？

文責 フラッセル日本人学校補習校
校長 佐藤 博

「なにそれ？おいしいの？」「初めて聞く名前だし、ぼくは食べたことないよ・・・」
いえいえ、とんでもない。きっと皆さんもフリッツって一度は食べたことがあると思います。日本では「フライドポテト」と呼ばれているあの食べ物です。マクドナルドのフライドポテトは先生も大好きでよく食べていました。あっ、ちなみにマクドナルドは世界中どこに行ってもあって、もちろんベルギーでもたくさん見かけます。

話をもとに戻しますが、このフリッツ、ベルギー発祥の食べ物で、国民にも大人気。レストランでは当たり前のように付け合わせでついてくるし、フードトラックで公園や広場で売っているところもたくさん見かけます。この通信の前号でお知らせしたように、ついこの間に学校で行った「マロニエ祭」でもフードトラックがきて販売したところ、長い行列ができていたくらいです。

食べ方としては、日本ではほぼ塩のみで食べますが、ここではケチャップやマヨネーズなどいろいろな味のソースを選び、つけて食べることが多いです。私は「SAMURAI (サムライ)」というピリ辛のマヨネーズ味のソースが大好きでよく頼むのですが、それ以外にもたくさんのソースがあり、それを選ぶのもまた楽しいです。ちなみにこのサムライソース、なぜこのような日本風の名前がついているのかはわかりません・・・。

さて、このフリッツの歴史について説明します。その昔、ベルギー南部のワロン地方の都市ナミュールで、農民たちが釣った魚を油で揚げて食べる習慣があったそうなのですが、17世紀の中頃、大寒波が襲い川が凍って魚が釣れなくなったため、保存食のジャガイモを小魚のようにスティック状に切って揚げたのが始まりだそうです。その後、ベルギー内でこのフリッツはたくさん食べられるようになってきたのですが、第一次世界大戦中、ベルギーにやってきたアメリカ兵がフリッツを目にしたとき、人々が話していたのがフランス語だったため、フランスの食べ物と思い、「フレンチポテト (フランスのポテト)」と呼び始め、そこから「フレンチポテト」「フライドポテト」という名前が一般的になったとか・・・
ちなみに、フリッツとは「Pommes de terre frites (揚げたジャガイモ)」を意味するフランス語の言い方を短くしたものだそうです。ただこういう起源説は諸説あって、ベルギーはここが発祥とは言っていますが、同じようにフランスも「フリッツの発祥の地はフランスだ」と言っているらしく、どちらが本当は明らかにはなっていません。ちなみに日本のフライドポテトよりも大きく食べ応えがあって大変おいしく、また肉料理などにも大量についてくることもあり、お腹いっぱいになることは間違いありません。ベルギーっ子はみんな大好きです。みなさんもベルギーに来ることがあれば、ぜひ！



ストライキで交通ストップ！



ベルギーでは1年間のうちに何度か「ストライキ」が行われます。これは労働者の皆さんが、労働条件の改善を訴えるために時々実施されているようで、よくあるのは交通系会社のストライキ。これが始まるとブリュッセル市内の鉄道やバスがほとんどストップしてしまい、それが原因で学校に来ることができないという日本人学校の人もいたようです。市内の主要な交通が使えなくなるため、非常に困ることは困るのですが、ただこのストライキはきちんと予告されて実施されているので、あらかじめ準備することができることは助かっています。

またストライキがあるのは交通系の会社だけではなくありません。普通の食品等を売っているスーパーなどや航空会社などもストライキをすることがあります。昨年はベルギーの首都であるブリュッセルから出発するすべての便がストライキでキャンセルされ、この写真のように、日本のニュースにもとり上げられたくらいです。ちなみに昨年の夏休み期間中も一部の航空会社がストライキを行い、ちょうどその便に乗る予定だった知り合いの先生は、飛行機なら1時間ちょっとで行けるところをバスで14時間ほどかけていったと聞いています。ストライキは労働者の権利でもあります。年に何回もされるとそれを利用している側はちょっと困りますね。ちなみに日本でも今年の夏、東京のせいぶデパートが61年ぶりにストライキを行ったということで話題になりましたが、日本ではあまりストライキって聞きません。こちらよりも平和的な話し合いによって解決しているのかもしれない。

